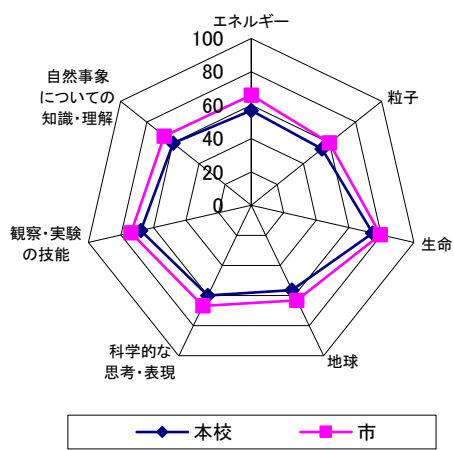


宇都宮市立鬼怒中学校 第3学年【理科】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	エネルギー	56.9	66.1	56.4
	粒子	54.3	60.0	57.4
	生命	74.6	79.4	75.2
	地球	56.3	63.1	49.4
観点別	科学的な思考・表現	59.9	66.8	57.2
	観察・実験の技能	67.8	73.8	69.4
	自然事象についての知識・理解	59.8	66.6	61.1

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
エネルギー	○「紙テープの打点のようすから、台車の速さの変化がわかる」設問では本校の正答率が81.7%と実験結果から推察する力がおおよそ身に付いている。 ●エネルギー分野では、市平均を9.2%下回っている。また、全ての問題において市平均より5%以上下回っている。	・身につけた知識を基にして思考する力を高めるために、授業のなかで知識を活用して事象について考える時間を確保する。
粒子	○「還元の化学変化の例を指摘できる」設問では市平均を0.6%上回った。 ●「銅イオンについて理解している」設問では市平均を16.1%下回った。	・身につけた知識を基にして思考する力を高めるために、授業のなかで知識を活用して事象について考える時間を確保する。 ・イオンに対して苦手意識をもっている生徒が非常に多いので、2年時に学習する原子・分子とのつながりを意識させ、苦手意識を減らしていく。
生命	○「裸子植物と被子植物の胚珠のつくりのちがいを理解している」設問では市平均を1.3%上回った。 ●「植物の花のつくりについて理解している」設問では市平均を13.2%下回った。	・生物分野において知識は比較的身に付いているが、知識同士の関連性までは理解できていないので、基礎基本問題を活用してあらゆる知識を関連付けて身に付けられるようにしていく。 ・観察に時間を充分にとり1つの花のつくり、比較等多面的な学習を工夫する。
地球	○地球分野では、参考値を6.9%上回った。 ●「凝灰岩の層が地層を調べる手がかりになる理由を説明できる」設問では市平均を9.9%下回った。	・観察結果や条件をもとに推論する力を伸ばすために、グループワークなどの対話的活動の時間をふやしていく。